

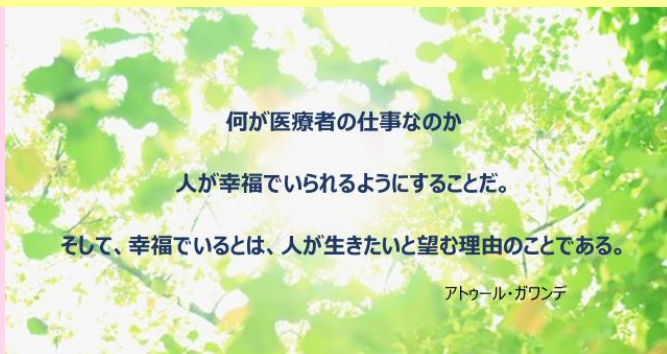


秋田大学医学部附属病院 専門・認定看護師会

ダイヤモンドナース通信

第49号 令和5年10月25日発行

できていますか？意思決定支援



何が医療者の仕事なのか

人が幸福でいられるようにすることだ。

そして、幸福でいるとは、人が生きたいと望む理由のことである。

アトール・ガワンデ

自分らしい暮らしのために

・「人が生きたいと望む理由」はひとによって異なる

・個々が活用する医療の目的も

その人の視点、価値観によって異なる



共有意思決定

共有意思決定とは？

情報提供＝理解 ではない



「私のことは 私抜きで きめないで」

(nothing about me without me)

自己決定権、自律を尊重する

医療者と医療を受ける人が

現時点で利用できる最善の医療情報を共有して

一緒に治療方針を決定するプロセス

■患者は医師から説明された内容の40～80%を間違っ理解したり、忘れてしまう。

■手術の説明を聞き、同意文書に署名した後

・18～45%の患者は主なリスクを覚えていない

・44%は手術自体をよく理解していない

・60～69%は自分が署名した文書を読んでいない

■直接患者教育資料を手渡しても、約9割は渡されたことを忘れていた。



小松 崇 国民生活研究第59号第2号(2019年) 患者参加型医療が医療の在り方を変えるー21世紀医療のパラダイムシフト

より良い意思決定を支援するには知識とスキルが必要です！

みなさんもいっしょに学びませんか？

当院では意思決定ガイドを用いた意思決定支援研修があります。

意思決定ガイドをなぜ使うのか

情報の提供

価値観の明確化

・目的に合った意思決定スタイルがとれる

：患者が大切にしたいことを尊重できる

・意思決定を支援する時間を作る

：患者にガイドを書いてもらえば、個別性の高い話に時間をかけられる

・理解とコミュニケーションを促進する

：ガイドを繰り返し読むことで理解が進みやすくなる

・選択肢を説明できる

：専門的な説明についてわかりやすく説明できる

・中立的立場で支援できる

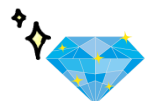
：主治医の意向ではなく、患者の価値観に合ったものを選ぶ



医療職の意思決定支援が
患者さんのより良い生活を支えます。
意思決定支援研修申込の
詳細はWebclassをご参照ください。

ダイヤモンドナース通信は
看護部ホームページにも掲載しています！

担当： 遺伝看護専門看護師



イラスト出典：http://pancos-sozai.com/